

■新学習指導要領準拠■

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

道德の年間指導計画例

6年

株式会社光文書院

本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、わかりやすくしました。
 - 従来の一般的な「ねらい」は、抽象的で、「この授業を通してこんな道徳的な力を育てたい」ということが、具体的にとらえにくい傾向がありましたので、「ねらい」を次のように改めました。
 - 従来の「ねらい」をそのまま示した（◎印）うえで、その「ねらい」を分析して、具体的でわかりやすく示しました（*印）。
 - 「……を育てる」などという表現ではなく、「……する」「……わかる」「……気づく」「……できる」などのように、子どもの立場に立って表現し、子どもの側に立った授業をつくることを強調しました。
 - *印で示した「ねらい」は、授業の成否を評価する観点としても活用できます。

2. 「展開の概要」を多様化しました。
 - 従来の「展開の概要」は、発問中心に記述するという傾向が強かったように思います。
 - 道徳の授業は、発問だけでなく、さまざまな活動によって成り立っていますので、発問中心の記述をやめ、多様な活動を示しました。
 - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立てば、発問も、子どもの違いによって変わらなければなりません。
 - 「展開の概要」をもとにして、子どもに即した発問を工夫していただきたいと思います。
 - 研究編の「指導の方法」欄に発問例を示しましたが、これにとらわれることなく、生きた発問を工夫していただきたいと思います。

3. 「関連・連携」を強化しました。
 - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
 - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示してあります。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
1. よみがえった速球 ー藤川球児ー〔主題名／自分を生かす道〕(1ー(6) 個性の伸長)			
4 月	<p>◎自分の特徴を知って、悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばす。</p> <p>*だれにでもよいところと悪いところがあることがわかる。</p> <p>*よいところをうまく伸ばしていけば、悪いところが隠れていくことがわかる。</p> <p>*自分のよいところを、さらに伸ばしていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の特徴について考える。 2 資料『よみがえった速球』を読み、藤川選手が自分の長所をどのようにして成功につなげたかを考える。 3 長所について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『よみがえった速球』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……自分自身を見つめ直し、長所を生かす方向を考えさせる。 ③学級活動……「友だち紹介カード」をもとに自分では気づかない面を知るようにさせる。
2. 気持ちとことば〔主題名／心を表すことば〕(2ー(1) 礼儀)			
4 月	<p>◎時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>*場に応じた言葉の使い方がわかる。</p> <p>*心がこもった言い方や態度で相手に真心が伝わるのがわかる。</p> <p>*礼儀正しく、心のこもった言葉を使っていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 言葉と気持ちのかかわりを考えながら資料を読む。 2 「1 エレベーターの場面」について話し合う。 3 「2 花屋にぶら下がっていた札」について話し合う。 4 「3 行きつけのレストランでの二人の会話」について話し合う。 5 3つの話で共通している「わたし」の礼儀についての考え方は何かをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『気持ちとことば』を読んで、言葉・礼儀について話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……日常生活でも心のこもった感謝の言葉やあいさつができるようにさせる。朝の会や帰りの会などで上手にできている人を紹介し合わせる。
3. 陽子、ドンマイ！〔主題名／力を合わせて〕(2ー(3) 信頼・友情、男女の協力)			
4 月	<p>◎男女が尊重し合いながら協力し合っていこうとする。</p> <p>*夢を目指すものどしどしが、互いに協力し合い、友情を深めていくことのすばらしさに感動する。</p> <p>*男であっても女であっても、目標をもって生きていることには変わらない点に着目し、男女が協力し合いながら生きていくことのよさがわかる。</p> <p>*男女が、お互いのよさを発揮し合い、協力していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 主人公、陽子の気持ちとまわりの男の子の陽子への対応に注目しながら、資料『陽子、ドンマイ！』を読む。 2 「陽子が生き生きとしているのはなぜか」について話し合う。 3 自分の思いを実現させていく陽子の姿について話し合う。 4 男女がともに協力して生きている話を聞き、これからの自分の生き方について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『陽子、ドンマイ！』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②朝の会など……男女ともに協力し合い、よい関係をつくっていくために大切なことをふだんの暮らしの中で考えさせていく。そして、わかったことを紹介させる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4. 班長になってよかったな〔主題名／責任を果たす喜び〕〈4― (3) 社会的役割の自覚と責任〉			
5月	<p>◎集団の中における自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする。</p> <p>* 集団の中にはそれぞれの役割があり、集団の中における自分の役割を自覚し、一人一人が責任を遂行することによって、集団の目的が達成されることがわかる。</p> <p>* 自分が所属する集団において、自分の役割を果たし、集団の役に立てたという経験が、自分自身の喜びや成長、そしてより主体的な集団での役割の自覚につながることをわかる。</p> <p>* 自分の所属する集団において、自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自分が所属している集団を想起する。 資料『班長になってよかったな』を読み、「ぼく」の気持ちの変容の理由と心情を考える。 困難にあいながらも役割や責任を果たしている友達について話し合い、認め合いの心を広げる。 過去の6年生の作文を読み、リーダーとしてのさまざまな経験を通して、自分自身が成長していくことに気づく。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『班長になってよかったな』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……下級生や先生方、保護者などに責任を果たした場面を外部評価してもらい、活動への意欲づけとさせる。
5. 本屋のお姉さん〔主題名／真心をこめる〕〈1― (4) 誠実・明朗〉			
5月	<p>◎誠実に、明るい心で楽しく生活しようとする。</p> <p>* 誠実（まじめ）とは、真心をこめて相手のために尽くすことであり、誠実さは心を明るくすることがわかる。</p> <p>* これまでの生活を振り返り、自分もまじめに取り組んできたことがあることを自覚する。</p> <p>* まじめさを誇りに感じ、明るい心で生活しようという意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「誠実（まじめ）」という言葉から連想することや、まじめに取り組んだとき、または、取り組めなかったときの気持ちを思い出す。 資料『本屋のお姉さん』を読んで、どうすれば明るい心でいられるかを考える。 まじめに取り組んだり、真心をこめて行ったりしたことが、これまでの自分にもあったことを思い出し、そのことを書いたり友達に話したりする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『本屋のお姉さん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②特別活動……委員会や当番活動などで、自分の活動を振り返るときに、自分の役割を意識して取り組んだことをカードに書かせたり、発表させたりする。 ③日常生活……学校生活の中で見られた、自分や友達の誠実な言動を紹介し合わせる。
6. 地球があぶない〔主題名／自然を守る〕〈3― (2) 自然愛・環境保全〉			
5月	<p>◎自然破壊の現状を理解し、自分たちに何ができるかを考え、自然を大切にしようとする。</p> <p>* 自然破壊の現状を見て、これではいけないという問題意識をもつことができる。</p> <p>* 自然を守るために、世界の人々がいろいろな努力をしていることを理解する。</p> <p>* 自然を守るために、自分たちには何ができるかを考え、実行しようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 環境破壊のようすについて話し合う。 世界の人々は、この問題をどのように考え、どのように解決しようとしているかについて話し合う。 環境問題について、自分たちにできることは何かについて話し合う。 人間と自然との調和について、教師の話聞く。 これからの活動について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①日常生活……掲示係の児童に依頼して、地球破壊のニュースを背面黒板に掲示させ、自然破壊に関する関心を喚起させておく。 ②道徳の授業……資料『地球があぶない』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ③日常生活……地球破壊のようすを調べさせて、学校全体の掲示板に掲示するように指導する。 ④特別活動……自然を守るために自分たちにできることは何かについて話し合わせ、実行させる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
---	--------	-------	----------------

重点主題

7 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」
8 いらなくなったきまり

▶ 重点主題名／きまりの意義〔きまりの意義〕

【重点主題のねらい】

◎法やきまりの意義について理解し、お互いが気持ちよく生活できるようにする。

*きまりの必要性について理解する。

*きまりはお互いの心の中にあるものだとわかる。

*お互いが気持ちよく生活するために、よく考えて生活しようとする。

7. 「マナーからルールへ そしてマナーへ」〔主題名／ルールとマナー〕

5 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○きびしい罰則があると、きまりを守ろうとする人は増えるが、罰則でみんなをしぼることは望ましい姿ではないことがわかる。</p> <p>○とがめられるからきまりを守るのではなく、みんなが気持ちよく生活するためにきまりを守ろうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校のきまりについて守れているかを話し合う。 2 資料『マナーからルールへ そしてマナーへ』を読んで、きまりについて考える。 3 きまりは何のためにあるのかを考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>いっこうになくならないたばこのポイ捨てに過剰を設けたら、ポイ捨てが激減したという話である。やはり罰則がなければきまりは守れないと考えがちであるが、パトロールの行き届かないところではやはりポイ捨てがなくなるといふ事実を取り上げて、はたしてこれでいいのかという問題意識をもたせる学習が可能になる。</p>
--------	--	---	--

8. いらなくなったきまり〔主題名／いらなくなったきまり〕

6 月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○みんなが気持ちよく生活するためには、他者の権利も大切にしなければならないことがわかる。</p> <p>○きまりによって行動するのではなく、公德心を中心に考えて行動しようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時のふり返りをする。 2 資料『いらなくなったきまり』を読んで考える。 3 みんなが気持ちよく生活するために、必要なことは何かを話し合う。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>自分たちで考えて始めた学級文庫だが、しだいに整理や本の管理が乱れていく。そこで、きまりが必要ではないかと話し合うが意見がまとまらない。ところが次の日、きちんと整理されていた。だまって整頓を始めた子どもの行動から、きまりをつくらなくても「きまりはお互いの心の中にあるものだ」ということ気づかせることのできる資料である。</p>
--------	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9. 妹の手紙〔主題名／一生けん命に生きる〕〈3－(1) 生命尊重〉			
6 月	<p>◎どんな人でも命の重さは同じであることを知り、自他の生命を尊重し、力強く生きようとする。</p> <p>*生命は、何ものにもかえがたい大切なものであることを知る。</p> <p>*そのように大切な生命は、自分の中にも、他者の中にも等しく一つだけ存在することを実感する。</p> <p>*生命を大切にすることとは、その生命を輝かせてよりよく生きるということにつながることを理解し、そうしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 資料『妹の手紙』を読んで、話のあらましをつかむ。 『妹の手紙』を人間の命という観点から話し合う。 子どもを生んだ妹は、自分の子どもに命の尊さについてどんな話をしていると思うかについて話し合う。 今の自分の命に対する考えは、妹のどのときの考えに近いかについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『妹の手紙』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……星野富弘の美術館へ見学に行ったり、詩集を読んだりさせて、星野富弘の生き方に興味をもったり感動したりする体験を共有するように指導する。 ③国語……国語で命に関する詩を書かせたり、命に関する本を読ませたりする。
10. 鑑真和上〔主題名／目標をもってやりぬく〕〈1－(2) 希望・勇気、不とう不屈〉			
6 月	<p>◎より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないでやり遂げようとする。</p> <p>*多くの困難を乗り越えて、自分の役割を果たそうとする鑑真の強い思いに心が動く。</p> <p>*最後までやり遂げようとする思いの奥には、自分の役割についての強い使命感があることがわかる。</p> <p>*より高い目標を見つけ、やり遂げていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 鑑真について写真や年表などを使い、簡単に説明を聞く。 大きな困難がありながらも日本に渡航しようとした鑑真の思いを考えながら、資料を読んで話し合う。 鑑真の生き方から学んだことを紹介し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学級活動……学年当初に立てた個人の目標や係の仕事や委員会の仕事を振り返らせる。 ②道徳の授業……資料『鑑真和上』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ③読書活動・総合的な学習の時間など……文献などで鑑真について調べ、志を貫こうとする鑑真の思いに迫ることにより、自分の生き方を見つめる契機にさせる。
11. ぞうきんがけ〔主題名／受けつがれる心〕〈4－(6) 愛校心〉			
6 月	<p>◎最高学年として責任をもって学校の仕事をやり遂げることに喜びを感じ、それを他の学年にも伝えていこうとする。</p> <p>*小さく目立ちにくいことであっても、学校を支えている自分に誇りを感じることができる。</p> <p>*学校の仕事の中で、自分の役割を果たそうと熱心に取り組む姿が他の学年の仲間を打つことに気づく。また、自分にも上級生から受け継いだよい心があることに気づく。</p> <p>*自分の取り組みの中にも、同じことがないかを見つめ、誇りをもって学校を自分の手で作っていく意欲をもつことができる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「主人公の気持ちを変えたものは何かについて考えよう。」という意識をもって資料『ぞうきんがけ』を読む。 資料『ぞうきんがけ』を読んで、話し合う。 香緒里さんの気持ちを変えた石井さんについて話し合う。 卒業生が残した文集や詩などを紹介し、それらに込めた卒業生の心について話し合う。 自分たちにもできることはないかと、働きかけてみる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『ぞうきんがけ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……責任をもってやり遂げようとする動きを教師がとらえ、励ますことを通して、学校の文化を自分の手で作っていく意欲を高めさせる。 ③読書活動など……上級生が残した作文・詩や資料を読ませ、上級生の気持ちを感じさせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
12. 町おこしプラン〔主題名／町おこし〕〈4― (7) 郷土愛・愛国心〉			
7 月	<p>◎郷土やわが国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>*自分の住んでいる町や地域のよさ、特色について考えることができる。</p> <p>*町や地域についてのよさや特色を調べ、知るとともに町に対する愛着をもつ。</p> <p>*「町おこしプラン」を考えることで積極的に地域にかかわっていかうとする気持ちをもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 資料『町おこしプラン』を読んで、話し合う。 「自分たちの町おこしプラン」を考える。 47 ページの観点を参考に、手順にしたがって自分たちの町や地域を見直す。 「自分たちの町おこしプラン」(第一次案)を考え、発表し合う。 自分たちで大切にしていきたい町のよさについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『町おこしプラン』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②社会科……自分たちの地域の歴史について調べ、まとめさせる。 ③総合的な学習の時間……グループごとに自分たちの町について調べ、「町おこしプラン」を作成し、発表し合わせる(子どもたちが考えたプランを実際に市町村に提案するというアプローチもある)。
13. きみの声が聞きたい〔主題名／やりとげる心と力〕〈1― (5) 真理・進取・工夫〉			
7 月	<p>◎人には、新しい考えを追い求め、あきらめずに探求し続けることで何かを成し遂げることができる力があることに気づき、目標に向かって努力しようとする意欲と希望をもつ。</p> <p>*目標をもって次々と新しい世界を切り開いていく人の生き方に接して、すばらしいと感動できる。</p> <p>*神谷さんのように、人にはあきらめずに何度も失敗と工夫を繰り返すことで何かを成し遂げることができる力があることがわかる。</p> <p>*そのような力は自分にもあり、自分を伸ばす大事な力であることに気づく。</p> <p>*自分にできること、したいことを考え、それに向かって努力しようとする意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「がんばる」とはどういうことかについて考える。 「資料の中にどのようながんばりがあるだろう」という観点で資料を読む。 神谷さんはどうしてあきらめずにがんばり続けることができたのかについて考える。 あきらめずに続けることの「よさ」を、自分の体験と重ねて考える。 「がんばる」ということのイメージをもう一度考え直してみる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『きみの声が聞きたい』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……自分の夢や目標をもち、それに向かって努力させる。 ③読書活動など……夢に向かって努力し、達成した人物の伝記を読ませる。 ④総合的な学習の時間……自分で決めたねらいを達成するために、活動を続けさせる。
14. 規則正しい生活はすべての基本〔主題名／規則正しい生活〕〈1― (1) 節度ある生活態度〉			
9 月	<p>◎自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする。</p> <p>*自分も含め、社会全体が夜型になり、高学年になって、就寝時刻が遅いと疲れを感じることに気づく。</p> <p>*自分の生活をよりよくするために、規則正しい生活をするのが大切であることを理解する。</p> <p>*みずからの生活を振り返り、改善しようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 保健学習で自分の生活パターンを表に書き、まとめたものを見る。 資料『規則正しい生活はすべての基本』を読み、話し合う。 健康的な生活を送るためには、どのような生活パターンが望ましいか、表に書き直す。 規則正しい生活を送っている有名人のエピソードを聞く。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各教科など……家庭科や保健学習を通して、規則正しい生活の必要性やその方法について理解させ、実践させる。 ②道徳の授業……資料『規則正しい生活はすべての基本』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ③日常生活……自分の生活パターンを見直す活動をさせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
15. 海に生きるおじいちゃん【主題名／人も自然の一員】〈3— (2) 自然愛・環境保全〉			
9月	<p>◎自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしようとする。 *人間は、自然の一員であることに気づく。 *人間が、自然を守るという立場ではなく、人間は、自然の中の一員であるという立場で自然にかかわっていくことの大切さがわかる。 *身のまわりにある自然に対してどのようにしてかかわっていけばよいのかを考え、実行しようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の中で「地球環境」について調べたことを発表したり聞いたりして、自然環境に関して問題意識をもつ。 「人間は自然とどのようにかかわっていけばよいのか」という問題意識をもって、資料『海に生きるおじいちゃん』を読む。 人間は、自然とどのようにかかわっていけばよいのかについて話し合う。 自然界の一員である人間として、自分のあり方を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『海に生きるおじいちゃん』に出会い、自然と人間が一体の関係であることに気づかせる。〔本時〕 ②日常活動……「人間も自然の一員」という考えをもって、ニュースや新聞を見て、新たに発見したことを綴り、仲間に発信させる。
16. 夢に向かって —三浦雄一郎—【主題名／夢に向かって】〈1— (2) 希望・勇気、不とう不屈〉			
9月	<p>◎夢をもち、目標を立てることによってやる気や不とう不屈の心や自信等がわきあがることがわかり、自分も実践していこうとする。 *よりよい自分に向けて夢をもつことによって、暮らし方が変わることに驚きを感じる。 *よりよい自分に向けて目標を立てることによって、やる気や不とう不屈の心が生まれ、それが自信となって自分を支えていくことがわかる。 *そのような心のはたらきは、自分にもあることに気づき、夢を抱いて努力していこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「三浦雄一郎から何を学べるか」を考えながら、資料『夢に向かって』を読む。 自宅近くの山さえ登れなくなっていたときの三浦さんの心を読み取って、発表する。 三浦さんが、再び夢を追い始めるもととなる心を探して、発表する。また、その心は自分にもあることを見つける。 三浦雄一郎の生き方を自分の暮らしにどのように生かしていくのかを各自がまとめ、発表する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『夢に向かって —三浦雄一郎—』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②総合的な学習の時間など……三浦雄一郎の夢に向かう姿勢に心ひかれ、目標に向かって生きることを再認識し、自分の夢の実現のために努力していこうと実践させる。
17. 自然のゆりかご【主題名／あたえられた命】〈3— (1) 生命尊重〉			
9月	<p>◎自分や他者の命を大切に生きていこうとする。 *エゾマツの一生から、生命の不思議さに関心を持ち、感動する。 *まっすぐに一列になって立っているエゾマツの秘密から、命には受け継がれていくという特徴があることがわかる。 *生命の長い間の営みの中で与えられた自分の生命を大切にしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 原生林について知る。 資料『自然のゆりかご』を読んで、主人公の感動を追体験する。 主人公の「体がふるえてきた」という言葉について考える。 このエピソードから自分の生活で大切にしたいことを抜き出す。 命の大切さを自分なりの言葉でまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『自然のゆりかご』を読んで、命の尊さについて考えさせる。〔本時〕 ②学級活動……生命の尊さについて知ることができるエピソードを紹介し合わせる。 ③日常生活……自分の命や他人の命を大切にしようとする態度で生活させる。 ④読書活動……「命のつながり」について書かれた本や詩などを読んで紹介し合わせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
18. 初めてのアンカー〔主題名／家族を愛する〕〈4—(5) 家族愛〉			
10 月	<p>◎家族の自分への愛情を感じ取り、その思いに応じていこうとする。</p> <p>*父や母や祖母の家族を慈しむ気持ちを知って、それに応えようとする生き方にふれて、心が動く。</p> <p>*自分の家族も自分に対して、愛情を寄せていることに気づく。</p> <p>*家族の生き方から学んだことをこれからの自分に生かそうとする意欲をもつとともに、自分も家族を支えていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分にとっての家族はどんな存在かを考える。 2 資料『初めてのアンカー』を読み、「まき」の気持ちが変わったのはなぜかを考える。 3 今日の学習を振り返って、改めて自分の家族について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『初めてのアンカー』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……家族の言動から家族に支えられていることに気づき、感謝の思いを伝えさせる。

重点主題

19 お茶の心

20 いちばん近い自然・里山

▶ 重点主題名／日本の伝統・文化を受けつぐ
〔集団や社会の一員として〕

【重点主題のねらい】

◎日本独自の伝統文化や知恵、自然などのよさを知り、社会の一員として自分にできることは何かを考え、継承していこうとする。

*茶道を通して伝承されてきた文化が今の日本を支えていることがわかる。

*里山などの自然の大切さと、それを守ろうとする人々の思いがわかる。

*日本の伝統を守ることの大切さがわかり、自分には何ができるかを考え、実践する。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
---	--------	-------	----------------

19. お茶の心【主題名／もてなす心】

10 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化の大切さを知り, 受け継いでいこうとする。 ○伝統文化には, 自分たちの生活のもととなっていることがたくさんあることに気づく。 ○その〈もの〉の歴史や成り立ち, 先人たちの思いなどを知ることで, よさがわかる。 ○国家の一員として, その〈もの〉をいかに守り, 継承し, 広めていくかを考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 お茶とわたしたちの生活について考える。 2 資料『お茶の心』を読み, お茶の心が日本人の生活にどのような影響を与えているかを考える。 3 「おもてなしの心」に代表される, 日本古来の文化や知恵にはどのようなものがあるだろうかという関心・興味をもつ。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>ふだん何気なく触れている日本文化。お茶もそのひとつである。茶道に象徴される, 相手に対する気づきを形に表した日本文化のよさを再認識し, それらを守り受け継ぐ努力をしている人々の思いに共感することができる。</p>
---------	--	--	--

20. いちばん近い自然・里山【主題名／自然とともに生きる心】

10 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○里山などの自然環境のよさを知り, 守り育てていこうとする意欲をもつ。 ○自然とともに生きる精神が今日まで続いていることに気づく。 ○知らず知らずのうちに自分たちもその精神を継承しており, それが日本を支えているということがわかる。 ○そのような日本の自然や知恵を大切に, 継承していこうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の自然のよさについて話し合う。 2 自然とともに生きるとはどういうことかという観点をもって資料『いちばん近い自然・里山』を読む。 3 「自然とともに生きる」ということの意味を考える。 4 前時の学習との接点を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>古来より自然との共存を大切にしてきた日本人の知恵。そこにこそ, われわれが求める自然とのつき合い方のヒントが凝縮されている。その一つが里山である。その里山が, しだいに荒れてきてしまっている現実を知り, そこから自分にできることは何かと自問自答する。</p> <p>国家のためにと言うと大げさだが, そのような身近なところから自分の生き方や社会における役割について考えを広げていくことによって, 子どもたちは社会の中の一員である自分を自覚するようになる。</p>
---------	--	---	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
21. 花びんのある駅【主題名／よりよい社会をつくるために】(4ー(1) 公德心、規則尊重・遵法、権利・義務)			
10月	<p>◎公德心を持ち、社会の一員としてできることを進んで行おうとする。</p> <p>*公共物や公共施設の使い方など、社会におけるマナーに関心をもつ。</p> <p>*公共の場では、他者への気配りや思いやりが大切なことがわかる。</p> <p>*社会の一員としての自覚を持ち、積極的に行動しようという意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 写真を見るなどして、学校や地域での公共のマナーについて感じていることや自分の考えを出し合う。 2 資料『花びんのある駅』を読んで、話し合う。 3 みんなの心に呼びさまされた気持ちとはどのようなものかを考える。 4 公共の場での自分の行動を振り返り、自分の中にあるよさを自覚する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『花びんのある駅』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……学校や社会のきまりや公共のマナーが大切にされている場面を紹介させる。 ③特別活動……遠足や宿泊的行事などで公共施設を使うときに気をつけることを話し合わせる。
22. 松井さんの笑顔【主題名／感謝する気持ち】(2ー(5) 尊敬・感謝)			
11月	<p>◎自分たちの生活は多くの人々に支えられていることを知り、感謝しそれに応えようとする。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人の存在に気づく。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人の気持ちを知り、感謝する気持ちをもつ。</p> <p>*自分たちの生活を支えてくれている人に感謝し、それに応えるための活動に意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分たちがしている「お世話活動」を思い出して、話し合う。 2 資料『松井さんの笑顔』を読んで、話し合う。 3 松井さんがいつも笑顔で自分たちの世話をしてくれている理由について話し合う。 4 自分たちがすべきことについて考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料「松井さんの笑顔」を読んで、自分たちを支えてくれている人について考えさせる。〔本時〕 ②日常生活……自分たちを支えてくれている人をさがし、感謝の念をもたせる。 ③学級活動など……周囲の人から支えられている自分たちにできることをさがして、話し合わせる。
23. フーバーさん【主題名／世界の人々とともに】(4ー(8) 国際理解と親善)			
11月	<p>◎外国の人々の文化をよく理解し、日本人としての自覚をもって、世界の人々とかかわっていかうとする。</p> <p>*スイスの歴史やおかれている状況についておおまかに知る。</p> <p>*お互いの国をよく知り、認め合うことが国際親善につながることをわかる。</p> <p>*外国の歴史や文化について関心を持ち、世界の人々と積極的にかかわっていかうとする気持ちをもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 行ってみたい国とその理由について発表し合う。 2 資料『フーバーさん』を読んで、話し合う。 3 自分が行ってみたい国についてもう一度考える。 4 外国や外国人について誤解や理解不足があったことはなかったかを話し合う。 5 外国の人々とつき合っていくためには、どのようなことが大切なのかについて話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『フーバーさん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……「世界のニュース」などのコーナーを作り、新聞やテレビで知った世界の国々や人々の暮らしについて話し合わせる。 ③総合的な学習の時間……関心がある世界の国々と人々の暮らしについて調べ、発表し合わせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
24. ファミリーレストランで〔主題名／広い心で〕〈2— (4) 謙虚・寛容〉			
11 月	<p>◎謙虚な心を持ち、広い心で他者の失敗や過ちを許すことができる。</p> <p>*「わたし」のウェイトレスを許せない気持ちがわかる。</p> <p>*1年生の言葉と笑顔から救われた自分に気づき、広い心で接する大切さがわかる。</p> <p>*自分にも失敗はあることを自覚し、広い心で人と接しようとする気持ちをもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 他人の失敗を許そうとしたけれど、許せなかった経験について話し合う。 2 資料『ファミリーレストランで』を読み、問題意識をもつ。 3 今日の学習から考えたことを話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『ファミリーレストランで』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②帰りの会……謙虚な心で生活し、広い心で失敗を許し合えたか振り返る時間をつくる。また、寛容な言動が見られた場面を紹介し合わせる。
25. すあしにサンダルの天使 –マザー・テレサ–〔主題名／愛をもって〕〈4— (4) 勤労・社会奉仕〉			
11 月	<p>◎一人の活動が世界へ広がるすばらしさを知って、思いやりやさしさ、愛の心をもって、社会のために奉仕しようとする気持ちをもつ。</p> <p>*愛をもって人に接し、社会に役立つ活動をしている人の生き方にふれて感動できる。</p> <p>*社会奉仕の活動の根底には“いてもたってもいられない心”があること、また、その心は自分にもあることがわかる。</p> <p>*社会の役に立つために自分にできることを見つけ、実際に進めていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料『すあしにサンダルの天使』を読んで、マザー・テレサの足跡をたどる。 2 「質素なことは美しいこと」というマザー・テレサの言葉に込められているものを考え、互いに検討し合う。 3 マザー・テレサが残した言葉について、自分が考えたことを紹介する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『すあしにサンダルの天使』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……社会のために役立つ活動をしている人々にはどのような人がいるかを調べさせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
26. 藤井駅のホームでのできごと〔主題名／親切を生むもの〕〈2－(2) 思いやり・親切〉			
12月	<p>◎人には、困っている人を見たら助けずにはいられない心があることに気づき、困っている人を助けようとする。</p> <p>*困っている人に対して何かをしてあげたいという心をもっている人に感動することができる。</p> <p>*ほんとうの「思いやり」とは、相手の立場に立って、自分のことのように考え、「わが心を相手に遣うということ」であることがわかる。</p> <p>*人を助けることで、助けた相手が喜び、その相手の喜びが自分の喜びになることがわかる。</p> <p>*そのような思いやりの心が自分やまわりの人たちにもあることを実感し、そのような場面に出会ったとき、相手のために何らかの行動をとろうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 人が困っている場面を提示し、自分ならどうするか、声をかけられるかについて考える。 2 資料『藤井駅のホームでのできごと』を読んで、「親切」とは何かについて考える。 3 友達が、困っている人を見て親切にしてあげている場面を見たことがないかを話し合う。 4 教師が見た学校での親切の場面を話したり、低学年からのお礼の手紙や声を読んだりする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『藤井駅のホームでのできごと』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②朝の会・帰りの会……日常生活にある「親切」を見つける活動を行わせ、朝の会・帰りの会で話し合わせることで、意識づけさせ、認め合いの心を広げさせる。
27. 誠実な人 —吉田松陰—〔主題名／まっすぐな心〕〈1－(4) 誠実・明朗〉			
12月	<p>◎自分の心に忠実に行動し、前向きで明るい生活をしていこうとする。</p> <p>*誠実な人の生き方に共感し、感動することができる。</p> <p>*誠実な言動は、他人を動かし、信頼されるためにとっても大切な要素であることがわかる。</p> <p>*誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ、同じような心が自分にもあることがわかり、それを高めていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「誠実だ」と思える人について想起する。 2 資料『誠実な人 —吉田松陰—』を読んで、誠実に生きる意味について考える。 3 「誠実に生きる」とはどういうことかを考える。 4 自分の誠実な生き方について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> ①社会科……吉田松陰や歴史上の人物について学習し、その生き方や考え方についても調べたり話し合わせたりする。 ②道徳の授業……資料『誠実な人 —吉田松陰—』を読んで、自分の生き方について考えさせる。〔本時〕 ③読書活動……「自分に誠実に生きた人」の話をさがして読み、発表し合わせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
28. 森川君のうわさ〔主題名／かたよらない心〕〈4— (2) 公正・公平, 正義〉			
1 月	<p>◎だれに対しても偏見をもつことなく、公正・公平に接していこうとする。</p> <p>*相手によって態度を変えることは、だれにでも起こりうることに気づく。</p> <p>*そのような理不尽な差別や偏見をなくし、公正・公平を求めていくことの大切さを理解する。</p> <p>*公正・公平を希求する心が正義の実現には大切なことであると理解し、正義の実現に向けて努力しようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 資料『森川君のうわさ』を読んで、話し合う。 いじめをなくすために必要な心もちについて話し合う。 友達を公正・公平に見た例を紹介する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『森川君のうわさ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……仲間はずれや差別的な言動をきびしく見つめていく雰囲気をつくり、機会あるごとに話し合ったり、人権問題についての学習を深めたりさせる。 ③総合的な学習の時間……差別や偏見をなくすために努力している人々の活動を調べ、その人々の思いや願いに触れさせる。
29. これが日本〔主題名／日本のよさを大切に〕〈4— (7) 郷土愛・愛国心〉			
1 月	<p>◎郷土やわが国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>*わが国には、人々がこれまでに長い時間をかけて大切にはぐくんできた伝統文化や自然が多くあることがわかる。</p> <p>*わが国の伝統文化や自然を誇りに思い、守りたいと思う。</p> <p>*わが国や郷土のよさを受け継いでいこうとする意欲をもつ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自分が思う日本のイメージを発表する。 資料『これが日本』を読んで、話し合う。 全体で話し合いをして考えたことをまとめる。 まとめた意見を全体で紹介し合う。 これからの学習について話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①社会科……日本の歴史を学ぶことを通して、そのありのままの姿をとらえさせる。 ②道徳の授業……資料『これが日本』を読んで、日本文化のよさを知るようにさせる。〔本時〕 ③国語などの教科学習……日本のよさを継続的に調べ、紹介し合わせる。
30. 最後のひと葉〔主題名／忍びざるの心〕〈2— (2) 思いやり・親切〉			
2 月	<p>◎だれに対しても思いやりの心を持ち、自分にできる精いっぱいのことをしようとする。</p> <p>*スウやベアマンの行為を生んだ「忍びざるの心」に感動することができる。</p> <p>*他者の不幸や生き方を見て、何とかしないではいられない心が「忍びざるの心」であることがわかり、その心は自分も持っていることを自覚する。</p> <p>*「忍びざるの心」をもって実践と反省を続けていこうとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 動物にはない、人間の条件について話し合う。 資料『最後のひと葉』を読んで、人間の条件のひとつとしての「忍びざるの心」について話し合う。 「忍びざるの心」は『孟子』に出てくる言葉であり人間の条件であるという話を教師から聞く。 「忍びざるの心」は、自分たちの生活の中にあるかについて話し合う。 「忍びざるの心」についてさらにくわしく調べようと話し合う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①道徳の授業……資料『最後のひと葉』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……「思いやりカード」を作り、それに記録させ、実践させていく。

月	主 題 の ね ら い	展 開 の 概 要	関連・連携のための指導計画例
---	-------------	-----------	----------------

重点主題

31 生命のメッセージ

32 命と向き合う人生

33 ともに前進し続ける —井上怜奈—

▶ 重点主題名／命かがやかせて〔自他の生命を尊重する〕

【重点主題のねらい】

◎かけがえのない命に気づき、自分の命を輝かせて生きようとする。

*命は受け継がれてきたもの（連続性）で、家族にとってもかけがえのない命であることに気づく。

*失われた命はもどらない（有限性）からこそ、どの命も大切であることに気づく。

*命は互いに支え合い高め合っていること（関係性）に気づき、自分の命も輝かせようとする。

31. 生命のメッセージ〔主題名／心の中で生き続ける命〕

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族を失った悲しみからかけがえのない命に気づき、受け継がれた自分の命を大切にしようとする。（連続性） ○失われても心の中で生き続ける命の存在を知って輝かせようという気持ちをもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「生命のメッセージ展」について知る。 2 資料『生命のメッセージ』を読み、悲しみを乗り越え、息子といっしょに生きようとする鈴木さんの気持ちを考える。 3 鈴木さんのメッセージから、自分の命を輝かせることについて考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>メッセージ展を開いたり、大学を目指したりする鈴木さんの姿から、命は家族にとってもかけがえのないものであり、失われても家族の心の中で生き続ける命があるのだと気づかせることができる。</p>
--------	--	---	---

32. 命と向き合う人生〔主題名／一つしかない命〕

2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物の命を救おうとする坂本さんの姿から、命のかけがえのなさに気づく。（有限性） ○命を絶つ仕事から救う仕事へと転身した坂本さんの生き方から、自分の生き方を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 捨てられるペットの数から、命を落としている動物たちの多さに気づく。 2 資料『命と向き合う人生』を読み、動物の命を救おうとする坂本さんの気持ちについて考える。 3 坂本さんの命と向き合う生き方について話し合い、自分の生き方を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>動物の命を絶つ仕事をしながら、同時に救う活動もしていた坂本さんから、かけがえのない命に気づかせることができる。さらに獣医を目指す坂本さんの姿から、どう生きるかという生き方についても考えを深めることができる。</p>
--------	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
33. ともに前進し続ける ―井上怜奈―〔主題名／支え合う命〕			
2 月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病气やけがに負けず、支え合いながら夢に向かって生きるすばらしさに心が動く。 ○人は互いにつながり、支え合っていることに気づき、自分もまわりの人を支えようとする気持ちをもつ。(関係性) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 井上選手のスケート選手としての経歴を知る。 2 資料『ともに前進し続ける ―井上怜奈―』を読んで、井上選手がスケートを続けた理由を考える。 3 自分も周囲の人に支えられていることを考える。 4 3時間の学習を振り返って、命について考えたことを話し合い、これからの自分の生き方を考える。 	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>病气やけがと闘いながらスケートを続けた井上選手と支え続けたボルドウィン選手の姿から、命は互いに支え合っているのであり、それを高め合う気持ちがよりよく生きる力となるのだと気づかせることができる。さらに自分も命を輝かせるためにどうするかまで考えを深めることができる。</p>
34. 大空に飛び立つ鳥〔主題名／ほんとうの自由とは〕〈1― (3) 自由・自律〉			
3 月	<p>◎自由を大切にし、規律ある行動をとろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> *自由な生活をするためには、自分の心を律することが大切であることがわかる。 *自分の心を律し、規律ある行動の中にあるほんとうの意味の自由がわかる。 *自分の生活をふり返り、自由を大切にし、規律ある行動をしようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 きまりがあることで「自由ではない」と感じたことがないかを話し合う。 2 資料『大空に飛び立つ鳥』を読んで、ほんとうの自由について考える。 3 景子はどんなことをほんとうの自由だと考えたのかを想像する。 4 自分の生活をふり返り、自分にとってほんとうの自由を見つける。 	<p>①道徳の授業……資料『大空に飛び立つ鳥』を読んで、ほんとうの自由について考えさせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……宿泊の行事などの機会に、「自由と規律」について考え、どんな行動をするのがよいかについて話し合い、実行させる。</p>
35. 青の洞門〔主題名／清らかな心〕〈3― (3) 敬けん〉			
3 月	<p>◎人間の心の美しさに感動し、常に美しい心を求めて生きていこうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> *人間の心の美しさに感動することができる。 *我執にとらわれた人間の心の醜さと純粋な清らかな心の美しさを比較して、美しい心のすばらしさがよくわかる。 *人間は、美しい心にふれて、自分の醜い心を改めることができることがわかる。 *常に美しい心をもって生活していこうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 江戸時代の敵討ちについて教師の話聞く。 2 資料『青の洞門』を読んで、話し合う。 3 人間の心や行いを越えた人の話を教師から聞く。 	<p>①道徳の授業……資料『青の洞門』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②読書の時間……清らかな心をもった人の話をさがして読み、そのあらすじをカードにまとめさせる。</p>